

## 2021年「名古屋市立大学小児科学術奨励賞」公募要領

### I 趣旨

2018年以降小児科専門医の受験に論文の筆頭著者が必須となっている。小児科専門医の育成と、名古屋市立大学小児科医局のさらなる発展を祈願し、「名古屋市立大学小児科学術奨励賞」を公募する。新生児・小児医学分野に関する優れた論文を発表した若手の研究者を対象とし、副賞として総額20万円（受賞者人数で分ける）を授与する。

### II 選考対象者

小児科学に関連する基礎および臨床研究を行い、その成果を2020年1月1日～2020年12月31日の期間に、日本小児科学会雑誌、*Pediatrics International*等の査読を有する学術雑誌に掲載された(Epubを含む)原著論文、症例報告の筆頭著者を選考対象とする。この筆頭著者は論文掲載時点で卒後15年以内（平成18年(2006年)卒以降）であり、医局費（卒後5年以内は免除）を完納している医局員に限る。対象となる論文を複数有する場合、応募する論文数に制限を設けないが、受賞は1論文を原則とする。過去に受賞歴のある者は選考対象外とすることもある。

### III 申請方法

論文のコピー1部と申請用紙を2021年1月31日までに名古屋市立大学小児科医局（[ped.sec@med.nagoya-cu.ac.jp](mailto:ped.sec@med.nagoya-cu.ac.jp)）にメールにて提出する（必着）。提出された申請用紙は医局便り、ホームページ、メーリングリスト等で公表する。

### IV 選考方法

名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野スタッフ会を選考委員会とし、教授を選考委員長とする。原則、責任指導者が関連病院所属であるもの、大学所属であるものからそれぞれ1編以上を選出する。医局員による投票を実施し、その結果を踏まえ選考委員会で受賞者を決定する。医局員による投票の方法については、医局便り2021年2月号で案内する。選考委員会の判断によっては医局員による投票を行わないこともある。

### V 発表と授与

申請者全員に参加賞を授与する。選考結果は、2021年3月20日（土）の名市大小児科臨床集談会で公表し、授与する。選考委員長による講評も行う。受賞者は、2021年9月18日（土）に開催される第91回名市大小児科臨床集談会において受賞講演を行う。同門会誌「瑞心」に受賞論文の抄録、受賞報告を掲載する。